



2023年5月1日発行

発行 仙北市議会  
編集 仙北市議会・  
広報編集  
特別委員会

第1回定例会、議員賛否	P2~3	市民福祉常任委員会	P14
令和5年度当初予算	P4~5	産業建設常任委員会	P15
一般質問	P6~12	いきいき広場・人事案件	P16
総務文教常任委員会	P13	編集後記	

■春らんまん「古城山から望む  
桜木内川堤の桜のトンネル」



# — 第1回(2月)定例会 —

**二つの議案(80歳敬老祝金の廃止と消防団退職時家族慰労金の廃止)が否決される**

- ・敬老祝金(80歳に5,000円支給)の廃止は反対多数により否決される
- ・消防団員退職時の家族慰労金の廃止も反対多数により否決される

令和5年最初の第1回定例会が2月21日から3月17日まで25日間の会期で開催され、令和5年度当初予算などの予算関係26件、条例関係25件、その他5件、諮問関係2件、議員提出議案6件の計64件が審議され、80歳の敬老祝金の廃止と消防団員の退職時の家族慰労金の廃止が否決されました。

## ■第1回定例会で審議された条例関係等議案

- ◇仙北市個人情報の保護に関する法律施行条例制定について
- ◇仙北市個人情報保護審査会条例制定について
- ◇仙北市田沢湖クニマス未来館条例の一部を改正する条例制定について(観覧料の値上げ)
- ◇仙北市思い出の潟分校条例の一部を改正する条例制定について(観覧料の値上げ)
- ◇仙北市田沢湖クニマス未来館等観覧料の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について(観覧料の値上げ)
- ◇仙北市組織条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市情報公開条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市基金条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市敬老祝金条例の一部を改正する条例制定について【否決】
- ◇仙北市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市立角館榊細工伝承館並びにふるさとセンター条例の一部を改正する条例制定について(観覧料の値上げ)
- ◇仙北市総合情報センター条例の一部を改正する条例制定について(観覧料の値上げ)
- ◇仙北市道路路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市立角館町平福記念美術館条例の一部を改正する条例制定について(観覧料の値上げ)
- ◇仙北市武家屋敷河原田家条例の一部を改正する条例制定について(観覧料の値上げ)
- ◇仙北市病院事業使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市伝承館等観覧料の特例に関する条例を廃止する条例制定について
- ◇仙北市消防団員退職時家族慰労金支給条例を廃止する条例制定について【否決】
- ◇市道の廃止について
- ◇市道の変更認定について
- ◇市道の認定について
- ◇松木内辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- ◇田沢辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- ◇人擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(2名)

## 議決結果/議員賛否

令和5年 第1回 仙北市議会定例会(招集日:令和5年2月21日 最終日:3月17日)

凡例: 賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席(議長は法律で定めるケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	会派及び氏名 件名	議決月日	議決結果	議員														
				小 林 幸 悦	真 崎 寿 浩	高 橋 輝 彦	武 藤 義 彦	青 柳 宗 五 郎	門 脇 晃 幸	熊 谷 一 夫	平 岡 裕 子	高 久 昭 二	荒 木 田 俊 一	田 口 寿 宣	澤 田 雅 亮	中 村 和 彦	小 田 島 広 仁	西 宮 三 春
議案第4号	仙北市田沢湖クニマス未来館条例の一部を改正する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第5号	仙北市思い出の潟分校条例の一部を改正する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第6号	仙北市田沢湖クニマス未来館等観覧料の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第7号	仙北市行政組織条例の一部を改正する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第16号	仙北市敬老祝金条例の一部を改正する条例制定について	3/17	否決	反	反	反	反	反	賛	反	反	反	反	賛	賛	反	反	賛
議案第19号	仙北市立角館榊細工伝承館並びにふるさとセンター条例の一部を改正する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第20号	仙北市総合情報センター条例の一部を改正する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第22号	仙北市立角館町平福記念美術館条例の一部を改正する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第23号	仙北市武家屋敷河原田家条例の一部を改正する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第25号	仙北市伝承館等観覧料の特例に関する条例を廃止する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第26号	仙北市消防団員退職時家族慰労金支給条例を廃止する条例の制定について	3/17	否決	反	反	反	反	反	賛	反	反	反	反	反	賛	賛	賛	反
議案第27号	令和5年度仙北市一般会計予算	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

# ふるさと納税寄付額19億円に！ 出産準備金を令和4年4月から給付！

## 令和4年度一般会計補正予算（第11号・第12号・第13号）の主な事業

ふるさと仙北応援基金積立金	3億円	ふるさと納税の寄付額の見込みを3億円増額（合計で19億円）
ふるさと納税ふるさと便事業費	1億7,293万円	ふるさと納税の寄付額増額による返礼品や送料の経費の増額
道路の除雪費	6,700万円	除雪出動経費の不足による増額
出産準備金給付事業費	858万円	妊娠届出時5万円、出産届出時5万円の計10万円を令和4年4月から給付
介護保険特別会計繰出金	261万円	にしき園における電気料金高騰等による一般会計からの繰出金の増額
病院事業会計補助金	2億2,317万円	医師確保対策経費や電気料金高騰による一般会計からの補助金の増額
生活バス路線対策費	1,292万円	対象路線の追加等による補助金の増額
低コスト技術等導入支援事業費補助金	3,325万円	令和5年度の事業を前倒して実施する県の補助金
田沢湖マラソン大会負担金	620万円	参加者減少による大会負担金の追加（当初予算1,000万円）

## 本会議・予算常任委員会での主な質疑

### ◆組織再編として企画部を新設するメリットは何か

**質問** 4月1日から企画部を設置し、企画政策課とまちづくり課（新設）を配置するとのことだが、目的と役割を伺う。また、企画部を新設するメリットは何か。デメリットはないのか。

**答弁** 企画政策課はこれまで様々な事業を担当しながら、他事業の施策評価にも取り組んできたが、慣例的な評価事務となっていたことは否めないと考えている。今後さらなる行財政改革の実効性を確保するためには、限られた予算で各事業を評価しながら、効果的な施策を実施することが必要であることから企画部門を強化することにした。デメリットは想定していない。

### ◆消防団員退職時の家族への慰労金廃止について

**質問** これまで何人の家族に支給し支給額はいくらか。また、夜中でも農作業中でも出動する消防団員を長い間支えた家族への謝意を無くすことは、団員、家族のモチベーション低下になるのではないか。

**答弁** 平成28年から始まり今年度末までの見込みで、延べ117名、793万円の支給であり一人平均6万7千円程である。家族が献身的に支えているのは事実であるが、家族への慰労金が団員の確保に繋がっている訳ではないことと、近隣自治体では未実施であること、さらには、令和5年4月から団員の報酬及び出動手当が増額となることから家族慰労金の廃止を提案した。

### ◆病院事業会計への補助金の増額補正について

**質問** 令和4年度一般会計補正予算で病院事業会計に2億2,317万円の補助金が増額されているが、角館、田沢湖両病院にどれだけ補助するのか。また、経営改善について伺う。

**答弁** 角館総合病院に1億4,043万円、田沢湖病院に8,274万円である。医師確保対策経費として応援医師の報酬等の増や不採算地区病院としての財政措置の拡充、及び電気料金等の物価高騰による増額などに充当する。経営改善については、市長、副市長とも協議しており、医師確保の重要性や病院経営コンサルの導入について検討している。

### 80歳の敬老祝金を廃止することを否決！

市民福祉常任委員会で否決となり 本会議でも否決される。

**反対討論** 少ない予算であっても、課題解決には十分に議論し市民が納得する形で進めるべきだ。80歳になって5千円の祝金だが、お年寄りには楽しみにしている。市長の目指す幸福度日本一の趣旨に反するものだ。

**賛成討論** 80歳の5千円を廃止する厳しい判断であり、それだけ財政状況が逼迫しているということだ。仙北市を次世代に繋げるために、今は我慢が必要な時だ。財政を立て直してから改めて充実した福祉施策を構築するべきである。

※本会議で起立採決の結果 賛成4 反対11で否決

### 消防団員退職時の家族慰労金を廃止することを否決！

総務文教常任委員会では全会一致で否決される。

**反対討論** 24時間出動体制の消防団員を長年に渡って支えてきた家族への謝意である慰労金は継続すべきである。当局答弁で近隣自治体の未実施も廃止事由としたが、市民の福祉向上施策は各自自治体独自のものがあってしかるべきである。

**賛成討論** 当局説明では団員へ説明し理解を得ているとのことであり、家族も理解していると感じた。家族のいない団員は受け取れない。4月から団員報酬及び出動手当が増額され、団員本人の直接的な処遇改善は家族も喜ぶのではないかと。

※本会議で起立採決の結果 賛成4 反対11で否決

# 令和5年度 一般会計当初予算の概要

## 収入

市税収入は、個人市民税の増などを見込み、前年度より3,234万2千円増の26億836万1千円を見込んでいる。地方交付税は、地方財政計画などを踏まえ、総額で1億300万円の減となる84億8,000万円を見込んでいる。臨時財政対策債は5,000万円を計上し、地方交付税と臨時財政対策債の合計額は、前年度比1億7,300万円減の85億3,000万円を計上している。好調が続いているふるさと納税寄付金は、前年度当初予算と同額の12億円を見込んでいる。

財政調整基金繰入金は7億6,000万円、ふるさと仙北応援基金繰入金は13億6,219万5千円、仙北ふるさと振興基金繰入金は1,980万円を計上し、一般会計当初予算は202億6,100万円（前年度比1億5,800万円減 △0.8%）となった。

## 支出

退職手当負担金の減少や、新型コロナワクチン接種の会計年度任用職員の減少により、人件費は昨年度比で4,743万円減（△1.3%）の35億3,547万円を見込んでいる。普通建設事業費は、スクールバス購入や花葉館修繕、西明寺診療所の医療機器更新などにより、昨年度比で3.8%増の13億7,685万円の計上となった。

また、介護保険、国民健康保険特別会計（神代診療施設勘定）等への繰出金などの増加要因のほか、子育て関係、教育文化に係る新規事業などが盛り込まれている。

令和になり初めて除雪費が当初予算で4億8,638万円計上されたが、市の貯金である財政調整基金が3,735万円しか残っていないことなどから、今後の物価高騰に対する支援や非常事態発生などの不測の事態への対応などを考慮すると、非常に厳しい財政状況である。

## 令和5年度 予算総額 **376億4,724万7千円** を可決

一般会計予算 **202億6,100万円**  
（前年度比1億5,800万円減 △0.8%）

特別会計 **79億7,532万1千円**  
企業会計 **94億1,092万6千円**

### 令和5年度 特別会計当初予算の内訳

（単位：千円）

特別会計名	当初予算額	前年度比較	主な増減理由
集中管理特別会計	4,055,390	67,411	電気料金の増（8,100万円）
国民健康保険特別会計（事業勘定）	2,795,434	△46,143	被保険者数減少による医療給付金の減（△3,829万円）
〃（神代診療施設勘定）	97,142	1,833	事務職員1名増員
後期高齢者医療特別会計	360,683	△7,715	広域連合納付金の減（△595万円）
介護保険特別会計	520,461	62,142	にしき園人件費増（3,317万円） アスベスト対策増（2,327万円）
生保内財産区特別会計	89,000	4,000	一般会計への繰出金の増（763万円）
田沢財産区特別会計	53,000	△5,000	森林整備センター造林保育費の減（△941万円）
雲沢財産区特別会計	4,211	△1,996	造林保育費の減（△200万円）
合計	7,975,321	74,532	

### 令和5年度 企業会計当初予算の内訳

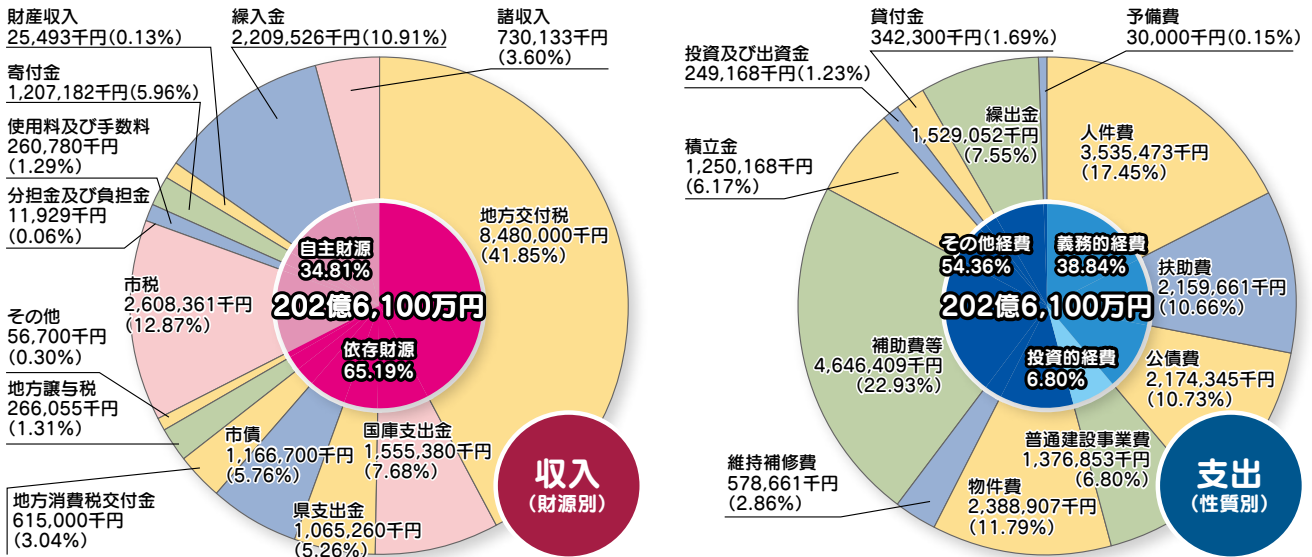
（単位：千円）

企業会計名	当初予算額	前年度比較	主な増減理由
病院事業会計	6,156,498	658,504	電気料金の増（463万円） 電子カルテ導入、医療機器更新等の増（6億417万円）
温泉事業会計	146,004	50,335	固定資産除去費の増（1,505万円） 改良工事費の増（2,804万円）
水道事業会計	1,545,531	9,126	電気料金の増（1,948万円） 固定資産除去費の増（2,361万円）
下水道事業会計	1,562,893	6,574	電気料金の増（930万円） 人件費の増（839万円）
合計	9,410,926	724,539	

# 令和5年度 一般会計当初予算の内訳

令和5年度の国内外の情勢は、エネルギー等や食料品の物価高騰や円安等により、依然として先行きが不透明な状況が続くことが予想されます。引き続き景気や金融市場の変動等に注視しながら、厳しい状況下でも市民生活の確保や地域経済活性化等に必要な施策が求められます。

それでは、令和5年度の一般会計当初予算の収入と支出についてグラフでお伝えいたします。



## 令和5年度 一般会計当初予算の主な事業

令和5年度の事業は、新型コロナの影響による出生数の急激な減少など危機的な状況において、子育て支援・少子対策や地域防災力の強化、交流人口の回帰など、未来に繋げる第一歩となることを意識したとのことである。特に、今後の仙北市を支えていく子育て関係、教育文化にかかる新規事業などを盛り込んでおり、具体的には、出産準備金給付事業、あきた出産おめでとう給付金支給事業、育児支援金給付事業などの子育て事業や、学校施設環境改善交付金事業、仙北市ヤマメ・サクラマスプロジェクトなどの事業を計画している。

事業名	事業費(千円)	事業の概要
「よぶのる角館」運行事業	15,801	電話・スマホで予約して行きたいところへ行ける乗合交通（設定されている区間）
政策支援アドバイザーの委嘱	2,400	田口市長の政策全般について、立案&実施支援を行う政策支援アドバイザーへの報酬
内陸線への補助金&利活用事業費負担金	90,128	内陸線の運行維持の補助金や連携協議会の負担金の支出
移住支援事業	3,600	産業人材の確保や移住促進のため移住及びマッチングの支援事業を実施する
地域運営体活動推進費交付金	22,680	地域運営体への支援を昨年度並みに実施する
育児支援金給付事業費	2,579	1歳児&2歳児に15,000円を現金支給し子育て世帯を支援する
出産準備金給付事業	7,849	妊娠届出時5万円、出産届出時5万円の合計10万円を支給し子育て世帯を支援する
あきた出産おめでとう給付金支給事業	3,060	出生届出を行った家庭に出生祝い金として2万円を支給する
高齢難聴者補聴器購入費助成事業	300	65歳以上の中度難聴者の補聴器購入費の助成（購入費の1/2か3万円のいずれか低い金額）
特定不妊治療費等助成金	1,500	特定不妊治療を受けている夫婦を支援する（年度内15万円まで助成）
企業力強化支援事業	3,000	市内企業の商談会などの出店経費を補助する（限度額50万円）
台湾修学旅行誘致促進事業	868	台湾学生の誘致を図り、閑散期の農山村地域の活性化を図る
6次産業化施設整備支援事業	20,943	食品衛生法改正に伴う漬物製造業者の施設改修などの経費の一部を助成する
冬期交通対策費	486,379	冬期の除雪費※令和では初めて当初予算に計上された
仙北市商工会補助金	9,900	仙北市商工会への仙北市からの補助金
田沢湖・角館観光協会補助金	25,000	田沢湖・角館観光協会への仙北市からの補助金
小・中学校トイレ洋式化事業	43,459	小・中学校のトイレの洋式化60%以上を目指す
ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業	3,134	小・中学生にも職場体験や企業説明会、講演などを実施し、地元への就職率向上を目指す
特別会計及び企業会計への補助金等	2,324,143	病院事業へ8億2,934万円、下水道事業へ7億円、水道事業へ1億6,769万円など
【第1号補正】 新型コロナワクチン接種事業費	128,616	令和5年度の新型コロナウイルスワクチンの接種経費（国が負担）
一般会計市債（借金）残高	218億398万円	令和4年度末は227億7,038万円だったので9億6,640万円減少
財政調整基金（貯金）残高	3,735万円	当初予算に除雪費を計上（4億8,637万円）したので残額が殆ど無くなった



蒼生会 真崎 寿浩 議員

アフターコロナの対策は万全なのか

市長

観光プロモーション、オンラインによる広告宣伝等を強化していく

消防団員の家族慰労金 廃止の説明について

**質問** 事務事業評価において、縮小又は廃止と判断された事業については対象の方々にしっかりと説明しているか伺う。

**答弁** 対象者が明確でない場合は難しいが、対象者が明確な場合には、しっかりと相手方に説明をさせていただき、ご理解いただくよう、各課に指示を出しているとの説明は尽くしていると考えます。

**質問** 私も消防団員の一人として、この度の消防団員家族慰労金支給事業の廃止については、団員がモチベーションを維持ができるのか心配である。本事業廃止について団にしっかりと説明をしたのか。また、その際に出された意見等はどういうものだったのか伺う。

**答弁** 事務事業評価の結果を踏まえ、昨年11月の消防団正副団長会議と12月の分団長会議の席上で、令和4年度をもって廃止することを話した。会議の席上では消防団員家族慰労金の廃止についてご理解いただき、意見は無かった。併せて、各分団や本部所

属の団員まで周知いただくようお願いをした。

4月から消防団員全階級の年報酬と出勤報酬が増額となるので、モチベーションの維持、向上と併せて新規団員の確保に努めていきたいと考えている。

アフターコロナの対策について

**質問** 最近テレビやインターネット等で、他の地域がアフターコロナを見越して、先手・先手で手を打っているような場面を目にする。秋田県を代表する観光地である当市であるが、アフターコロナを見越してどのようなことを考えているか伺う。

**答弁** まずは安全側の対応として、一般的な衛生対応等は、引き続き各事業者には徹底していただきつつも、積極的に観光客を迎える方向で努めていきたいと考えている。

誘客促進の観点からは例えば角館の桜まつり等、できるだけコロナ禍前と同じ水準での開催ができるよう検討し、関係者の方々と調整していく。そのために、観光大使の方々の協力を得

ながら観光プロモーション強化、オンラインによる広告宣伝等を強化していく。

海外誘客については、他の地域よりも一歩進んだ観光誘客を実施するため、まずは徹底した情報収集、変化することが予想される旅行需要に対応し、可能な地域の受入体制づくりに取り組んでいく。

仙岩峠の今後の整備について

**質問** 仙岩峠では、2月1日に除雪のため5時間通行止めになり、足止めされた車が多数あった。物流は勿論であるが、観光においても安心・安全な道路が必要であり、その

強靱化に向けての見解を伺う。

**答弁** 仙岩トンネルは47年も経過しており、老朽化が進んでいる。国道46号道路整備に関する勉強会を開催し、課題の認識共有や原因分析、対策の必要性等の意見交換を行っている。この結果を受け、盛岡秋田道路整備促進形成同盟会では、生保内卒田間の整備を最優先することを決定した。

仙岩峠整備については生保内卒田間の次の整備優先度評価になるが、国土交通省や関係機関に要望していく。

(小田島広仁記)



■トンネルの老朽化が進んでいる仙岩峠

財政状況の立て直しを、どうするのか

小田島 広仁 議員



市長 法定外目的税の導入、補助金等獲得戦略の検討を進める

財政の立て直しについて

**質問** 全国の貧乏自治体ランキングが市区編で18位となり、不安を抱いている市民も多い。施政方針で財政状況を立て直すために、法定外目的税の導入と補助金等獲得戦略を検討することだったが具体的な考えを伺う。

**答弁** 歳入確保策として法定外目的税である宿泊税の導入について検討している。今後の市内の宿泊者数の回復基調を見据えながら、宿泊税導入による歳入確保の可能性を探っていきたい。

補助金等獲得戦略については、市民生活を豊かにする事業と、国・県の補助事業のマッチングを各課においてアンテナを張り出し、情報収集を強化し検討を進めたい。

**質問** 昨年9月の一般質問で提案した入湯税の増税は、温泉施設の方々も増税して観光振興に充てて欲しいとの声が多いが、市役所内では検討しているか。

**答弁** 現在、コロナ禍からの回復状況を見守っている段階である。今後は、観光業界への影響や法定の財政需要の規

模、想定負担額等について検討が必要である。また、入湯税増税の対象となる業者の方々と、早めに意見交換会を開催したい。

第3次観光振興計画の延期について

**質問** 延期と判断したのはいつ頃か。また、ワーキンググループや策定委員会の開催状況について伺う。

費用については、当初の契約価格の変更や追加経費が発生することはないのか伺う。

**答弁** 想定以上に分析や議論の方向性を出すのが難しく、受託業者が供した資料が議論する上で市の担当委員等が望んでいる資料ではなく、論点が定まらなかった。

また、観光による市民幸福度の向上など、より深い検討の必要性を感じたことから、3回のワーキンググループ、2回の策定委員会を開催後の12月末に策定期間の延期について検討を開始した。その結果、期日ありきでなく、しっかりとした計画を策定することを委託業者と確認した。加えて観光庁が3月までに新たな観光立国推進基本計画をまとめる事が分かり、この

国の方針を反映させることとし、1月初旬に委託業者と延長を確認後、1月下旬の第3回策定委員会で延長の了承をいただいた。策定期間延長に伴う契約額の変更はない。

三セク（株）おもてなしせんぼくの今後の方針について

**質問** 現状と今後の方針について伺う。

また、多くのスタッフの退職とクリオンの宿泊事業について伺う。

**答弁** 最大の課題はキャッシュフローの改善である。国



■株おもてなしせんぼくの本社（花葉館）

内外の交流人口も増え始め、前年より観光客も増えていく。「(株)おもてなしせんぼく」では、宿泊料金の値上げや通信販売商品価格の見直しと製造ラインの改善、施設間の相互送客の取組み等で、成果が見え始めている。今後の方針については、山田コンサルティングの支援を受けながら、近々に決まる予定である。

スタッフの退職については、新会社設立後、自己都合退職があり定年退職もあつた。今の見込みでは、再編案で示した人員を割り込む想定にはない。

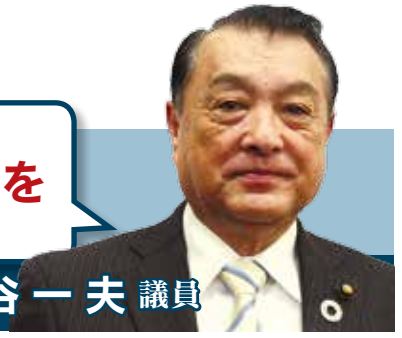
クリオンの宿泊については、観光シーズンや週末に一定数の需要が見込めることで、宿泊事業の継続を検討している。

総合体育館建設について

**質問** この構想には、長い歴史があるが現時点での考えを伺う。

**答弁** 規模や設備等の再考、ニーズの実態調査を踏まえた上で慎重に進めていく必要があると考えている。

(中村和彦記)



公明党 熊谷一夫 議員

子育て支援の充実と、高齢者への敬愛の心を

市長

子育て環境のさらなる向上と<sup>ひっばく</sup>逼迫する仙北市の財政状況にご理解を

仙北市の子育て応援  
トータルプランにつ  
いて

**質問** 本市における0歳時の見守り訪問事業の現状を伺う。

**答弁** 産前、産後において、これまで同様に丁寧な状況確認を行い身体、精神面でのサポートを続け、令和6年度からは子ども家庭センターを設置することで更なるサポート体制の拡充を図っていく。

**質問** 産後の母親に寄り添う家庭支援員の確保はどうか。

**答弁** 仙北市における産前、産後のサポートから補完している部分ではあるが、家事支援サービスについては、令和5年度以降は自己負担無しの全額公費負担にする予定であり、産後の支援も充実させていく。

**質問** 仙北市の子ども食堂の現状と今後の取り組みについて伺う。

**答弁** 仙北市には運営するための支援団体が無く、開設はされていないが、仙北市子ども



■子どもも高齢者も暮らしやすい仙北市に！！

貧困対策推進計画の第二期計画においても重要な位置付けであることから、開設支援に向けた取り組みを検討していく。

敬老祝金条例5千円支給廃止について再考を

**質問** 満80歳に5千円の祝金を貰うのを生きがいにしていく方々の、老後唯一の楽しみを削る事にした経緯はどういったものか。再考を強く求める。

**答弁** 先人達には感謝と尊敬を心から感じており心苦しい

が、財政調整基金が3,700万円まで落ち込む等、厳しい財政の中、少子対策事業費の一部に充当する予算としている。例えば5千円であっても市にとって大変貴重な財源であることにご理解いただきたい。

带状疱疹の予防ワクチン接種費用の補助について

**質問** 全額自己負担の為、金額が高高齢者の大きな負担となっている、本市の患者数と接種状況についてどうなっているか。

**答弁** 本市における患者数は把握していないが、国の資料によると日本人の成人9割が潜伏感染しているとされる。任意接種であるが参考までに、令和4年4月～12月まで、田沢湖病院では11人接種しており、角館総合病院では接種者なしだった。

**質問** 今後のワクチン接種費用の補助はどのように取り組むか。

**答弁** 令和5年度当初予算にてワクチン接種1回につき5千円の助成を予定している。市民には、ホームページや広報、仙北市公式ラインの

セグメント配信を活用し周知に繋げていく。

学校教育における部活動の地域移行について

**質問** 各中学校の部活動の現状と地域移行の方向性はどのようになるか。

**答弁** (教育長) 各中学校の部活動の現状は、野球、バスケットボール、吹奏楽で複数の合同チームが編成されている。令和5年度には、仙北市地域運動文化部活動検討運営会議を開催し、関係団体の意見や要望を集約し、令和6年度に土日の地域移行やクラブチーム化を検討するために総括コーディネーターを配置する予定である。

**質問** コーチや指導員の確保及び、地域移行に向けての周知について

**答弁** (教育長) 令和6年度以降は部活動指導員の増員を考えており、併せて指導者の育成にも努めていく。保護者等への理解、周知方法については、学校のPTA参観日や、広報等で現状と今後の方向性について説明していきたい、更に意見交換会やアンケート調査も行う考えである。

(澤田雅亮記)



高齢者の除雪支援制度を拡充できないか

日本共産党 平岡 裕子 議員



市長 住民税均等割のみの課税世帯にも拡充する

高齢者の生活支援の充実を

**質問** 高齢難聴者の補聴器購入費の助成が令和5年度の当初予算に計上されているが、いつから開始予定で予算をオーバーする希望者の対応はどうするのか。また、磁気ループ設備を整備し補聴器使用者への聞こえの支援ができないか。

**答弁** 令和5年4月1日から補聴器の購入費助成を開始する。10名分を予算化しているが、超えた場合は、その都度検討する。磁気ループ設備（※）は、貸出し用の携帯型の導入を検討したい。

**質問** 高齢者の除雪支援制度を課税世帯であっても対象にすることはできないか。

**答弁** 令和5年度から住民税の均等割のみの課税世帯も対象にする予定である。また、地域の若い人たちがお年寄りを支えていくことも必要だと思っている。

国保税の負担軽減で市民の暮らし応援を

**質問** 国民健康保険税の家計における負担は非常に大きい。本定例会での国保税条例

の一部改正により、若干の軽減が図られるようだが、国保基金や予備費等を見ると、更なる軽減が可能ではないか。また、今後の被保険者数の減少等により国保会計はどのように展開していくのか伺う。

**答弁** 地方税法の改正により、令和4年度から未就学児の均等割額が半額になっている。さらなる対象年齢の拡大を国に要望していく。

また、国保財政調整基金の残高は、令和3年度末で6億1,197万円であるが、団塊世代の後期高齢者医療制度移行による国保被保険者数の減少や医療の高度化により一人当たりの医療費が増加することや、今後の保険料水準の統一に向けた事業費納付金の負担増などに備えたい。

秋田銀行への行政財産の貸付けについて

**質問** 田沢湖開発センターを秋田銀行田沢湖支店の仮店舗として貸付けられることの議会への報告は、タ

ブレットに掲載しての事後報告であった。行政財産を民間企業に貸すことが可能なのか。貸付けの詳細を伺う。

また、不特定多数の人の往来が増加する公共施設のセキュリティ対策はどうするのか。

**答弁** 秋田銀行からの要請で公表を控えており、12月定例会での報告ができず事後報告となった。行政財産の民間企業への貸付けは可能である。貸付け箇所は、食堂と調理実習室及び2階の図書資料



田沢湖開発センター内で仮店舗営業中の秋田銀行 田沢湖支店

住宅リフォーム促進事業の復活を望む

展示室である。秋田銀行がリニューアル工事を実施し、使用料は本年12月12日までの1年間で46万円とし、光熱水費は面積按分とした。セキュリティは、セコムと契約して防犯対策を強化している。

**質問** 令和5年度に廃止される住宅リフォーム促進事業は、令和3年度の補助金の決算額583万5千円に対し、対象の工事費の総額が1億4,289万3千円であり、20倍以上の経済効果を生み出しており、市民及び事業者のために継続を望むものである。景気が低迷している時だからこそ、中小企業の支援が必要ではないか。

**答弁** 仙北市は他市町村と比較して財政が逼迫しており、これまでの事業を削らなると当初予算が組めない状況にある。住宅リフォーム促進事業は平成22年から続けてきたが、申請件数も年々減少しており、事務事業評価により廃止としたことにご理解を願いたい。

(高橋輝彦記)

用語解説

・磁気ループ設備とは…マイクの声などを専用のアンプを通して、床に這わせたループ状のアンテナに電気信号として送ることで音声磁場ができて、磁気コイル付補聴器で鮮明に聞こえる設備。



荒木田 俊一 議員

農業用肥料高騰対策に、  
国からの支援以外はないのか

市長 厳しい財政状況下で、独自の支援は困難である

再生産に必要な収入  
確保対策を

**質問** 現在、コメの生産費は、60kg当たり1万4,758円、令和2年に1,276円だった肥料が、昨年の暮れは、3,410円で2倍以上高くなっている。収量は、水田の状況により異なり、赤字を目的前にして、農家は後ろ向きになる。現状をきっちり把握してほしい。農業が廃れたら仙北市は終わりだ。これからでも遅くはない。市の支援策はないか。

**答弁** 近隣市町村で独自の支援を実施していることは承認している。厳しい財政状況での現時点では、市独自の支援は困難と考えている。

**質問** 国の支援ばかりに頼るのではなく、地域にある資源（堆肥センター）を活用して、減肥や減エネルギーに向けた農業政策を模索しなければならぬと考えるがいかがか。

**答弁** 4月から、堆肥センターで生産される「仙北の底力」を大口購入農家支援のため、10㎡を超えた分から半額とする予定である。市のホームページや広報で周知する。

消防団員の退職時家族  
慰労金支給事業廃止について

**質問** 事務事業評価だけをもって、議会や住民に何の説明もなく、いきなり廃止することは乱暴ではないか。

**答弁** 昨年11月の消防団正副団長会議で、12月の分団長会議で、令和4年度をもって廃止すると話した。意見はなかったので理解を得たと思っている。各分団や本部に所属する団員まで周知をお願いした。4月から、全階級の年報酬や出勤報酬を増額する。

**質問** 条例は、10年や20年勤続団員に残ってもらいながら新しい団員を確保のするためと、共に頑張ってくれている家族も慰労すべきとして作った。入団者が増えていない。報酬を増額したから、慰労金支給を止める理由にはならぬと思うがどうか。

**答弁** 条例の解釈に不備があったかと思うが、財政状況もあり廃止とした。

自然災害に対応できる市の組織や職員、市民の対応は

**質問** 市内に、土砂災害の危険区域の看板で災害発生しやすいエリアを表示しているが、発生した際の対応をどうするか、具体策が見えない。訓練は必要だと思いがいがか。

**答弁** コロナ禍で市の防災訓練が満足にできていない。令和5年度は、各関係機関から協力をいただき防災訓練や防災教室を実施する。2名の防災士の育成と共に、自主防災組織率の向上にも力を入れたい。

秋田新幹線新仙岩トンネル整備について

**質問** 促進期成同盟会に本市も加盟し、本市は重要な役割を担っている。昨年、11月9日開催の、秋田新幹線新仙岩トンネル整備促進大会に、市長・副市長が欠席で、総務部長の出席となった。日程を調整して市長か副市長は出席すべきと思うが見解を伺う。

**答弁** 4月に日程が決まっており前日から、会長を務める大曲鷹巣道路・国道46号盛岡秋田道路整備促進期成同盟会

の要望活動等で上京していた。副市長は、県副市長会議に出席となった。地元から盛り上げていかなければ、新仙岩トンネルの実現は難しいので、今後しっかりと対応したい。

J A手倉野倉庫付近の道路改良について

**質問** 側溝側に20cm以上の勾配があり、冬期間、側溝に滑り落ちる車を見かける。要望して10年以上になるが、改良の兆しがない。なぜ、できないのか。

**答弁** 市道生保内中央線等継続事業が多く、向生保内線事業着手に至っていない。財政状況を加味しながら、できるだけ早い改善に努めたい。

(平岡 裕子記)



■勾配の著しいJA手倉野倉庫付近の道路

更なる河川改修工事の促進で、  
住民の不安を解消すべきだ

蒼生会 小林幸悦 議員



市長 引き続き、県に対し強く要望していく

入見内川及び川下田川の改修工事のさらなる促進について

**質問** この両河川は、平成後半に3回大きな被害が出ており、その都度、県に対し改良工事を要望し、毎年少しずつ工事は進んではいるが、まだまだ上流に流れを阻害する箇所が数カ所あり、現在の進捗状況では工事完了まで何十年もかかるように思われ、雨が降ると住民の不安は解消されない現状にある。

今後の両河川の工事についての情報を伺う。また、工事促進を県に強く要望して欲しい。

**答弁** 入見内川の河川改修工事は、令和4年度県単河川改良工事で護岸工延長48・8m、坂路工9・3mを実施予定。川下田川の河川改修工事は、護岸工延長25・3m、用地買収、右岸228mを実施予定。令和5年度の河川改修工事は、入見内川では護岸工延長70mと、川下田川



■大量の土嚢を積んで越水防止のさわやか桜館前

は護岸工、用地買収を予定しているとのことである。両河川の河川改修工事については、仙北地域振興局との行政懇談会等で、引き続き強く要望していく。

**質問** 西長野地域に避難指示の判断を出す地点として田中観測所は、妥当な地点なのか。現在は河川改修が進んでおり、月見堂橋付近に観測所を設置するということができれば、より正確な判断を出せると思うがどうか。

**答弁** ご指摘のとおり、入見内川は河川改修が進んでいることから、大雨時の水位状況を確認し、河川管理者である仙北地域振興局に月見堂橋付近への水位観測所の移設や増設を要望していく。

**質問** 西長野地区の避難場所である西長野交流センターは、立地条件や設備面、情報収集の手段等、避難所として、特に高齢者には適していない状況にあることから、設備の整っている角館庁舎か、できれば花葉館を避難場所として開設できないか伺う。

**答弁** これまで、西長野地区の避難所は西長野交流センターに開設したが、昨年8月の避難所開設時には、設備面での課題も指摘されている。角館庁舎は距離が遠いことから、花葉館が高齢者の方にも避難しやすく、設備も充実している場所である。早急に協議し花葉館も避難場所として開設できるように取り組んでいく。

市長が目指す「幸福度日本一」について

**質問** 人は何をもちて幸福を感じるかは千差万別であり、個人の価値観の多様性により

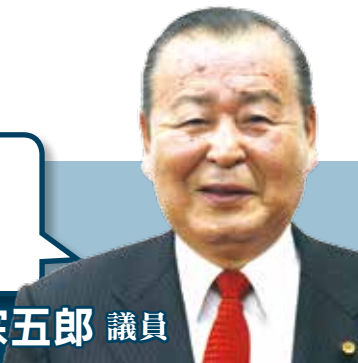
画一的な判断基準はないと思われるが、市長が目指すこの「幸福度日本一」になるには何をどうすればよいのか。令和5年度において、それを達成するための具体的な事業等があるのか伺う。

**答弁** 我々らしい幸福度とは何かという検討を進めていく。

現在は市民意識調査を中核として市民全体と年齢、性別、地域別での全体としての幸福度及び6つの個別指標「やりたいことがある」「やりたいたいことに向けてチャレンジしている」「日々の暮らしで生きがいを感じている」「自分のことを大切に思ってくれる人がいる」「頼れる人がいる」「自分の居場所や役割がある」での測定を開始している。施策全般でも何らかの形でそれぞれの指標が向上できるように施策の推進を進めていく。

市の全ての事業が幸福度を高める6つの指標を達成するために必要な事業と云えるが、一人ひとりの心のあり方が幸福度を満たすよう、市民の生の声を聞き、施策を展開していきたいと考えている。

(真崎寿浩記)



蒼生会 青柳 宗五郎 議員

田沢湖再生のために努力を

市長 国へ強力に要望していく

田沢湖の再生への取り組みと観光について

**質問** クニマス発見から約12年の間、どのような取り組みをしたのか。

**答弁** 秋田県に対して田沢湖の再生と環境保全の着実な推進について継続的な取り組みを要望し、令和元年度から国・県・東北電力と市が情報共有と課題等を整理することを目的とした勉強会を毎年開催している。

**質問** 田沢湖の護岸整備の進捗状況を伺う。

**答弁** 平成13年から25年度までの13年間で約50億円の費用をかけて整備が完了している。現在、護岸の浸食等による工事の必要な箇所等の報告はない。また、景観の維持管理のための工事の予定はされていない。



雪解けの田沢湖を訪れる外国人観光客

**質問** 田沢湖の観光についての取り組みについて伺う。

**答弁** オルタナティブ(※)な需要の開拓を目的として、田沢湖リゾート(※)という新しい価値観の提案を行い、積極的に誘客活動を進めていく。市としても、地方創生推進交付金を活用し、地域に住む私たちが本来もつ地域資源や景観価値を再認識することを目的として田沢湖リゾートイベントを実施したほか、

現在活動を行っている複数の民間事業者が中心となって秋田アウトドアベースという団体を結成し、連携を深め、さらに新しい事業活動を展開している。

国や県でも田沢湖を含む自然公園等について、秋田県立自然公園条例も保護と利用の好循環の実現に向け改正が進められている。

また、湖面の安全確保や湖面環境の維持改善については、今年度DMOと田沢湖角館観光協会が中心となり、国・県・民間団体などを集めた田沢湖ラウンドテーブルを核として湖畔の活用や景観保全などに関して意見交換を開始するなどの取り組みを進めている。

**質問** 国に田沢湖再生を要望する取り組みは考えられないか。

**答弁** 田沢湖の水質改善のため、国・県などに対して玉川酸性水中和処理施設に導入されていない未処理水の処理及び新玉川温泉排水の中和処理施設における処理の一元化について提案したが、実践するためには国・県などの経費負担増という課題があり、一元

化するとなれば、市の負担分が求められる可能性がある。

田沢湖の再生が思ったように進んでいない状況であり、田沢湖再生の加速化についての具体的な要望を引き出し、検討したい。

秋田自動車道西道路の延進について

**質問** 現状は大仙市で終了しているが仙北市まで延長する為の取り組みをする考えは。

**答弁** 大曲鷹巣道路整備促進期成同盟会では、地域経済活性化、観光振興に資するネットワークの確保を重点要望事項の一つとして要望活動をしている。

今後大曲鷹巣道路が秋田自動車道や本荘大曲道路、日本海沿岸東北自動車道へアクセスが向上することにより、地域経済活性化と観光振興のみならず、高次医療機関への緊急搬送や災害復旧支援等の迅速化が期待されることから、整備促進を国及び県に引き続き要望していきたい。

(西宮三春記)

用語解説

- ・オルタナティブとは…主流な方法に変わる新しいもの、代替手段
- ・リゾートとは…日常から離れてリフレッシュする時間を持ち、心身ともにリフレッシュすること

# 総務文教常任委員会

## 令和5年度 一般会計当初予算 小・中学校のトイレの洋式化に4,345万円

令和5年度一般会計当初予算の内、総務部、教育委員会関係予算が審査されました。市内小・中学校の和式便器を洋式便器に改修し、洋式化率60%以上を目指すための予算や昨年度と同額の地域運営体活動推進費交付金、スクールバスの購入費などが計上されております。

### 令和5年度 一般会計当初予算 (総務文教常任委員会で審査した項目)

項目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	比較	増減比率	備考
議会費	1億5,264万円	1億5,333万円	△69万円	0%	議会運営に関する予算
総務費	40億8,616万円	46億3,827万円	△5億5,211万円	△11.9%	人件費など行政運営全般や企画政策費
消防費	8億3,198万円	8億1,425万円	1,773万円	2.2%	大曲仙北広域消防や消防団に関する予算
教育費	15億4,444万円	14億8,212万円	6,232万円	4.2%	小中学校や公民館等の予算
公債費	21億7,434万円	21億5,660万円	1,774万円	0.8%	借金の返済

### 令和5年度 総務部・教育委員会関係の一般会計当初予算 主な事業

公共施設等マネジメント事業費	2,046万円	公共施設等総合管理計画に基づく田沢湖庁舎防災用発電機設置工事等
ふるさと納税ふるさと便事業費	7億6,450万円	ふるさと納税の返礼品に地元特産品を利用したふるさと納税の推進と市内産業の活性化を図る(12億円の寄付を見込む)
サテライトオフィス誘致促進事業費	1,236万円	首都圏のデジタル企業の誘致活動や、企業ニーズに応えられる人材育成を図る
地域運営体活動推進費交付金	2,268万円	地域運営体活動への交付金(昨年度と同額が計上される)
よぶのる角館運行事業費	1,580万円	新型モビリティサービスである角館 Maas の運行に係わる負担金
秋田内陸縦貫鉄道(株)運営費補助金	7,980万円	秋田県、北秋田市、仙北市が秋田内陸縦貫鉄道(株)を存続させるための補助金
仙北市ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業費	313万円	仙北市で働き生きていくイメージを養い、将来的な若者の地元企業就職率の向上を目指す
スクールバス購入事業費	2,318万円	角館小、桜木内小・中学校のスクールバスを購入
学校施設環境改善交付金事業費	4,345万円	市内小・中学校のトイレの洋式化60%を目指し改修(生保内小、神代中、西明寺中、桜木内中)

## ここが知りたい議論のポイント

総務文教常任委員会に付託された議案の主な質疑

**仙北市消防団員退職時家族慰労金支給条例を廃止する条例の制定について(常任委員会で否決される)**

**質問** 一方的な説明のみで廃止が決定したと聞いているが各団員への周知方法は、

**答弁** 11月21日の正副団長会議で、事務事業評価の廃止の決定を受け、初めて担当から説明後、12月2日の分団長会議で改めて廃止となる経緯を説明し、各団員、更には団員の家族まで丁寧説明していただきたい旨をお願いした。また、1月6日の消防出初式でも各団員と家族へ伝達の旨を話した。

**質問** 男鹿市、大館市等では団員とその家族が様々なサービスを受けられるが、検討はされているのか。

**答弁** 例えば、三セク等の入浴料の割引など、団員、家族を支えられるような福利厚生も含めたものを考えていきたい。今後、情報収集し検討していきたい。

**仙北市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例制定について**

**質問** 消防団の団員報酬の増額のほか、音楽隊練習手当・支部訓練大会練習手当が新たに追加されるが、全て個人に支払われる手当か。

**答弁** この後開催の消防団分団長会議で協議したいと考えている。支払い方法については確定していない状況である。

**意見** 今後も条例改正等が提案されると思うが、分団長会議等できつかりと協議し、内容がまとまった上で提案して欲しい。

**仙北市立角館平福記念美術館条例の一部を改正する条例制定について**

**質問** 観覧料が値上げされる条例改正にあたっては、市長部局を含め話し合ったと思うが、その協議と経緯について伺う。

**答弁** 令和5年度当初予算編成時に、仙北市全体的な方針としての歳入確保について、観覧料の値上げについて考えるよう指示があった。そこで、角館町平福記念美術館運営審議会にお諮りし、値上げについてご意見を伺ったところ、入館者が減らないよう内容を魅力的なものにし、特別展示会も含め満足度を得られるよう努力することを条件に、やむを得ないのではないかとのご意見をいただき、条例改正に至った。

# 市民福祉常任委員会

## 令和5年度 一般会計当初予算 民生費・衛生費73億7,030万円 補正予算で令和5年度のコロナワクチン接種事業費に1億2,861万円

令和5年度一般会計当初予算の内、民生費・衛生費が審査されました。コロナ禍等による出生数の急激な減少など危機的な状況にある中、子育て支援の新規事業を多数盛り込むなど、子育て世代への支援を重点施策としている。また、最終日には、令和5年度も国の負担で新型コロナワクチン接種を実施する補正予算を可決しました。

### 令和5年度 市民福祉部関係の一般会計当初予算 主な事業

母子保健対策費	1,181万円	乳幼児健康診査の実施や妊婦健康診査の費用を助成
育児支援金給付事業費	257万円	1歳児及び2歳児一人につき15,000円を現金支給する
出産準備金給付事業費	784万円	妊娠届出時に5万円、出産届出時に5万円を支給する (合計10万円：国の負担)
あきた出産おめでとう給付事業費	306万円	出生届を提出した家庭に出生祝い金2万円を支給する(県の負担)
すこやか子育て保育料助成事業	2,387万円	認定こども園、認可保育所、幼稚園などの利用者の保育料及び給食費を助成する
福祉医療費	2億442万円	0歳から高校生までの医療費の自己負担分を助成する
高齢難聴者補聴器購入費助成事業費	30万円	補聴器購入費用の1/2(上限3万円)を助成する
特定不妊治療費等助成金	150万円	特定不妊治療等を受けている夫婦を支援する(年度内15万円)
病院事業会計への補助金	8億2,934万円	角館総合病院及び田沢湖病院への補助金
【第1号補正】新型コロナワクチン接種事業費	1億2,861万円	コロナワクチン接種経費(5月中旬～12月末実施)(国が負担)

## ここが知りたい議論のポイント

市民福祉常任委員会に付託された議案の主な質疑

**仙北市敬老祝金条例の一部を改正する条例制定**

**(80歳の5千円支給を廃止)が常任委員会で否決される**

**質疑討論**

ささやかな楽しみであるかもしれない5千円を廃止するという、非常に厳しい決断を下すということはそれだけ市の財政状況が厳しく、財政調整基金の減少から見ても仙北市を将来に残していくために、今は我慢が必要である。

**反対討論**

廃止に至った経緯と二元代表制の認識について疑問が持たれること。予算のやりくりをすれば廃止しなくてもよい金額であり、努力をすれば生み出せる金額である。市民の幸せにも繋がらない。

**角館総合病院での新たな乳がん検診について**

**質問** 新たに導入する無痛MRI乳がん検診は、画像診断を東海

大学に委託することだが、検診料の2万2千円の他に別途委託料が発生するのか。また、何人程度の検査を見込んでいるのか。

**答弁**

画像診断は検診料に含まれており持ち出しはない。秋田県初のMRIを活用した「痛くない」「恥ずかしくない」「被爆しない」新しい乳がん検診となる。まだ認知度が低いことや検診料が高額であることから、まずは、月5人位で始める準備をしている。

**令和5年度の**

**新型コロナワクチン接種の取り扱いはどうなるのか**

**質問** 5月8日から5類になる新型コロナウィルスのワクチン接

種は個人負担になるのか。

**答弁**

令和5年度もワクチン接種費用は国が負担する。5月中旬ごろから65歳以上の高齢者と基礎疾患のある方々及び医療従事者等に接種し(年2回)、9月中旬から12月末にその他の方々の接種を(年1回)予定している。

# 産業建設常任委員会

## 令和5年度 一般会計当初予算

### 除雪費を盛り込み 土木費5億1,457万円増額 (前年比29.6%増)

令和5年度の一般会計当初予算の内、労働費、農林水産業費、商工費、土木費などの予算が審査されました。特に農林水産業費が前年度対比で、1億4,333万円(18.6%)、土木費が前年度対比で、5億1,457万円(29.6%)と増額幅が大きくなっておりませんが、農林水産業費は農地集積加速化基盤整備事業費、林道維持補修費等の増、土木費は除雪費を当初予算に組み入れたことによるものです。

#### 令和5年度 一般会計当初予算 (産業建設常任委員会で審査した項目)

項目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	比較	増減比率	備考
労働費	6,277万円	6,364万円	△87万円	△1.4%	シルバー人材センター補助金等
農林水産業費	9億1,343万円	7億7,010万円	1億4,333万円	18.6%	基盤整備事業、林道維持補修等
商工費	8億4,073万円	8億2,161万円	1,912万円	2.3%	商工業振興、観光振興等
土木費	22億5,418万円	17億3,961万円	5億1,457万円	29.6%	除雪費、道路改良費等

#### 令和5年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計当初予算 主な事業

地域おこし協力隊事業費	2,034万円	交流デザイン課所属の隊員委託費と退任隊員の市内起業への支援金
地域おこし企業人交流プログラム	50万円	日本航空国内線と市内農家民宿を利用する方へ宿泊費の一部を補助
6次産業化施設整備支援事業費補助金	2,094万円	農産物の加工販売に要する施設改修費を県が1/3、市が1/6を補助
自然ふれあい温泉館維持管理費	3,324万円	令和4年度から市直営で運営のアルパこまくさ内の温泉維持管理費
急傾斜危険区域域工事費負担金	680万円	市内2カ所ので工事実施予定。県事業に市が負担して行う事業
冬季交通対策費	4億8,638万円	今まで当初予算に計上しなかったが、今年度は計上した除雪費

### ここが知りたい議論のポイント

令和5年度 一般会計当初予算・令和4年度 一般会計補正予算の主な質疑

**質問** 浄化槽設置整備事業費について(令和5年度当初予算) 浄化槽設置整備事業費(1,380万円)の内容、設置数等について伺う。

**答弁** 個人設置型の浄化槽に対し補助金を交付するものである。5人槽を23基、7人槽を7基、合計30基の予定である。そのうち国・県補助分が28基、市単独分が2基である。国・県補助分は循環型社会形成推進地域計画に基づいて、下水道整備区域外設置に補助し、市単独分は計画区域内にあっても未整備地域、物理的に下水道管の配管が困難な所に補助する。

#### 田沢湖マラソン大会負担金について(令和4年度補正予算)

**質問** 1,000万円の当初予算があり、620万円の補正額は大きすぎる。詳細について伺う。

**答弁** 3年ぶりの開催となり、コロナ感染拡大状況を見極めながらの開催準備となった。第7波の影響で予想参加者数5,000人を大きく下回ることになり、最終申込者は3,470人だった。経費節減に努めたが、会場設営費等の固定費、感染拡大防止対策経費、物価高騰などにより、決算見込みに617万円の不足が生じたため、負担金の増額をお願いしたい。

**質問** 来年度も実施するので運営について再検討が必要。参加賞等の発注状況、在庫数、ボランティア人数、ボランティアに係る経費について伺う。

**答弁** コロナの関係で海外での生産ラインが止まり、国内生産のため急がなければならず、見込み数で発注した。在庫数はTシャツ100枚、タオル800枚、検査キット500個。ボランティア人数は350人。Tシャツ800円、弁当600円、プログラム230円、合計一人当たり1,630円はかかる。参加料の値上げの検討も含め、経費の見直し、削減、精算にもスピード感を持ちながら、同じことを繰り返さず令和5年度大会を進めていきたい。

#### 令和5年度企業会計 当初予算

企業会計名	予算額	前年比	備考
温泉事業会計	1億4,600万円	5,033万円	改良工事費等の増
水道事業会計	15億4,553万円	912万円	水道施設耐震化・更新計画策定業務委託費の増
下水道事業会計	15億6,289万円	657万円	建設改良費等の増

# いきいき広場

仙北市角館町小勝田  
青山愛子さん



結婚を機に  
島根県から仙北市へ。  
青山愛子さん

今回は、結婚を機に、仙北市民になられた、青山愛子さん。3歳と1歳の男の子のお母さん。青山さんの活動をご紹介します。

## Q. 活動内容を教えてください。

『フォトスタジオより気軽に、お家よりもちょっぴりおしゃれに』をコンセプトに、角館の武家屋敷近くで、おうちスタジオをやっています。

秋田県では数少ないマタニティペイントが体験できるスタジオで、マタニティフォト・ベビーフォトの撮影を行っています。

また、地域のイベントなどでは、お子様向けのボディペイントも行っていきます。

## Q. どんな時にやりがいを感じますか？

マタニティペイントとは妊婦さんの大きくなったお腹にボディペイントングを行うことです。

夫婦・家族の思い出作りや子供が出来たことの記念にマタニティペイントを行い、写真に残す方も多くいます。安産祈願として、海外では広く浸透しています。



マタニティペイント創作中の青山さん

やはりペイントを見てくれたママの「すごい！」と喜んだお顔を見る時です。「お腹を出すのは抵抗があったけど、ペイントがあるから、写真を撮ろうと思ったんです」と言ってもらえた時には、とても嬉しかったです。

大きなお腹のママ、生まれてからもあっとい間に成長していく赤ちゃんを撮影し、今後、何年何十年も大切な宝物になってくれるんだらうなと思うと、喜びを感じます。

## Q. 子育ての両立はどうですか？

ペイント撮影の時には、夫や両親に子どもを預けたり、一時保育や託児を利用したりしています。大変な部分もありますが、仕事を終えて帰って来た私の顔を見た家族から「家にいる時より、イキイキしてるね」と言われるくらい、大好きなペイントや撮影のお仕事

は、育児の合間のリフレッシュにもなっています。

## Q. 今後の展望や目標は？

日本でもここ数年で広まりつつあるマタニティペイントですが、まだ「マタニティペイントってなあに？」という方も多いと思います。

私も自分の妊娠中に故郷島根でマタニティペイントを体験しましたが、当時の秋田では体験できる場所を見つけることができませんでした。

同じように「マタニティペイントを体験してみたい」「大きなお腹の写真を残しておきたい」と思っているママも多いはず、という想いから、この活動を始め、3年で50人以上の妊婦さんにペイントをしてきました。

妊娠出産という人生で何度も訪れることのない一大イベント、その特別な時期を記念に残すお手伝いができることを誇りに思いながら、今後マタニティペイントの魅力を多くの人に伝えていきたいです。

(西宮三春記)



妊婦さんの希望により様々なペイント  
をしております。

# 編集後記

この度も仙北市議会だよりをご覧いただきありがとうございます。

三人の新人議員にとって一年目最後の定例会でありました。五月の初議会から臨時議会、定例議会、各常任委員会、議会全員協議会等、多くの事を学びました。この経験を糧に二年目も市民の皆様のために一生懸命頑張る所存であります。

今定例会は、当初予算等を審議する重要な議会であり、活発な議論が行われました。議会だよりは、その内容について多くの皆様に分かりやすく読んでいただくように努めており、限られたスペースの中で皆様に伝わるよう心がけております。もっと皆様方に親しまれる議会だよりになるように、「意見、ご感想等」をお聞かせただければ幸いです。

暖かい季節がやってきました。雪寄せからも解放されました。春を楽しんでください。

「広報せんぼく」と同様に、「市議会だより」も経費節減のために白黒での発行になりました。写真などが判りにくくなりますが、市議会ホームページでカラーをご覧ください。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(中村和彦記)

## 人事案件 (敬称略)

### ◎人権擁護委員

〔再任〕  
茂木 一代 (61歳)  
角館町小勝田中川原1-1-30

〔新任〕  
浅利 浩子 (65歳)  
西木町松木内字山口199